

しばざくら

【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」

- 自ら創造する生徒
- 思いやりのある生徒
- 健康で活力のある生徒
- 責任を果たす生徒



授業参観日の様子(教室の風景)

新たな時代へ



小中合同体カテスト~ちゅうるいの子どもたち!5年生~中学3年生

早いもので1学期も、7月24日(月)で終了し、24日間の夏季休業が始まります。大きな事故等もなく、無事に終業式をむかえられることを嬉しく思います。これも、ひとえに、地域・保護者の皆様方が、日頃より、子どもたちの健やかな成長に温かい眼差しと支援をいただいている賜物と感じているところであります。

子どもたちは中学校3年間の中で、心も体も大きく成長をします。自我の芽生えや個性の伸長等もあり、これまで当たり前にならなってきた様々な出来事やものの見方・考え方に、新たな気づきや発見を見出す機会も増えてきます。そのことにより、自分と周囲との違いやその逆の共感など、心の中での葛藤も多く生まれてきます。同時に、中学校卒業後の進路を見据えた、自分の生き方や将来を考えることも否応に意識することとなります。

その際、保護者からの自立への意識。そして、周囲の友達との価値観や考えの相違から生まれる意見の対立なども自然発生的に生まれてきます。その自立への意識や価値観の相違こそが、人を成長させるかけがえのない学びの場だと思います。大人になれば、対立を避け、程よい距離を保ちながら、得てして、伝えるべきことも伝えることができず、モヤモヤとした状況の中でも、諦めとも言える割り切った生活を過ごしていることも多いのも事実です。しかしながら、成長期における子どもたちには、自身の価値観や考えをしっかりと伝え、良い意味で周囲とぶつかってほしいと考えています。自分自身を形成していく過程の中で、より広い視野をもち、俯瞰的に物事をとらえる力や相違から生まれる価値観の広がりを得てほしい。そのためには、より多くの他者とのかかわりは必要不可欠です。

そこで極めて重要なことは、周囲の大人の子どもたちへのかかわり方だと思います。価値観の押しつけや考え方の強要ではなく、子どもたち一人一人の思いや考えを引き出し、様々な学びや体験を子どもたちの思考につなげてあげることが大切だと考えます。そして、その際、私たち大人は見守ることや待つ姿勢が問われます。結論を急ぎすぎたり、大人が考える答えを伝えたり…。しかしながら、予測不可能な時代だからこそ、子どもたち自身が物事を考え、自分なりの解を見出す過程こそが重要です。その解も常にブラッシュアップを繰り返しながら、新たな価値や意味を見出す必要があり、その営みこそが、これからの時代を生き抜く上で必要な力となるのです。

～栄光の架け橋～(夏季十勝大会等の各種結果報告)

野球部～サヨナラで勝利！

7月24日(土)・25日(日)に全十勝中体連夏季軟式野球大会が開催されました。初日、土幌町総合運動公園野球場で行われ、西陵中学校と対戦。最終回まで0対1とリードを許す接戦。最終回に、2点を上げ、サヨナラで投手戦を制しました。そして、決勝打は本校の2年生の長田くん。三遊間を抜けるヒットで勝利に導きました。

25日(日)には、幕別運動公園野球場にて準々決勝が行われました。対戦相手は、中札内・更別連合チーム。何度もチャンスはあったものの、決定打がなく、5回に一拳5点を奪われ、結果的に0対6で、残念ながら敗退しました。

3年生が今大会で引退となり、新チームとなります。本校2年生3名の今後の活躍が楽しみです。3年生の皆さん、お疲れ様でした。



【長田くんの決勝打！逆転サヨナラで勝利】

バレー部～チームプレイで最後まで！

7月15日(土)によつ葉アリーナ十勝にて全十勝中学校夏季バレーボール大会が開催されました。1回戦は帯広西陵中学校と対戦し、セットカウント2対0で勝利しました。続く準々決勝では、優勝候補の一角である下音更中学校と対戦。第1セット目は、相手にペースを握られ、本来の力を十分に発揮できない場面も多く見られ、6対25で落としました。2セット目は、これまで取り組んできた練習の成果を発揮し、スパイクやレシーブなど、チームが一つとなり、とても良いゲームとなりました。結果的には、15対25で負けてはしまいましたが、子どもたちの表情からは、やりきった感が見られました。ともに、合同チームとして、同じ時間を過ごしてきた豊頃中学校の生徒の皆さんにも感謝です。互いに支え合いながら良い雰囲気でも頑張りました。



【忠類・豊頃の3年生、有り難う】

卓球部～最後まで全力で！

7月8日(土)・9日(日)によつ葉アリーナ十勝にて全十勝中学校夏季卓球大会が開催されました。8日(土)に行われた団体戦では、Cブロック3チームによる総当たり戦で、上位2チームが決勝トーナメントに進出。残念ながら、帯広第四中及び共栄中にそれぞれ0-5で敗戦してしまいました。フルセットに持ち込んだゲームも多く、充実した試合内容でした。

翌9日(日)には、個人戦が行われ、方面大会を勝ち上がった生徒3名が十勝大会に出場。3年生の沼田さんと村田さん。そして、2年生の村田さんです。セットカウントは全試合0対3で初戦敗退ではありましたが、それぞれ光るプレイも沢山あり、良い試合でした。3年生の勇姿は下級生にしっかりと伝わっていたことと思います。お疲れ様でした。

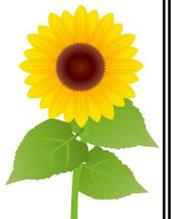


【自身の強みを活かした試合内容】

8月行事予定

- 10日(木) 学校閉庁日(～15日)
- 17日(木) 定例職員会議
- 18日(金) 2学期始業式
- 19日(土) 方面中体連秋季大会(野球)
- 20日(日) 方面中体連秋季大会(野球・卓球)
- 21日(月) 二計測(22日、24日)
- 22日(火) 修学旅行(～8月25日)

- 26日(土) 方面中体連秋季大会(バレー)
- 全十勝秋季野球大会
- 全十勝新人陸上大会
- 27日(日) 全十勝秋季野球大会
- 全十勝新人陸上大会
- 28日(月) 校内研修
- 30日(水) 1・2年学力テスト
- 生徒会常任委員会



中学生作成！～ちゅうるいパンフレット完成～



総合的な学習の一貫として、3年生が「ナウマン象のふるさと ちゅうるい」のパンフレットを作成しました。これまで、3年間で学び・体験してきた忠類の魅力や強みなど整理し、少しでも地域の活性化につながればと考えています。これから、本格的に観光シーズンを迎えるにあたり、道の駅やベジタ、シーニックカフェや郵便局等、各種施設に置かせていただくよう、子どもたちがお願いに参りました。皆さん、快く受け入れて頂きました。

この後、子どもたちは8月に予定している修学旅行にて、札幌駅で「忠類PR活動」を行います。その際、JA忠類ゆり根組合さんと連携し、ゆり根の配付と合わせ、今回、自分たちが作成したパンフレットも配布する予定です。一人でも多くの方に忠類を知ってもらい、足を運んで頂けることを願っています。地域の皆さんと一緒に、忠類を盛り上げていきたいです。

中学生PRIDE!～小中合同体カテスト～

7月11日(火)に中学校を会場に、小中合同体カテストを実施しました。例年、行われている事業で、小学校高学年に中学校へ足を運んでいただき、体力テストの種目である「シャトルラン」を一緒に行っています。一緒に実施する教育的効果は大きく、小中学生ともに、「頑張る」大きな励みになっています。小学生は中学生に負けまいと取り組みます。中学生は逆に、負けられないと頑張ります。相互に相手を意識をしながら、しっかり走り抜くことができました。小中縦のつながりが大切なことを子どもの姿から改めて実感いたしました。



「思いやりと歩み寄り」の大切さ～人権教室～



7月10日(月)に人権擁護委員の赤石裕元さんにご来校いただき、「人権教室」を1年生を対象に実施いたしました。

「人権」の意味を確認をしながら、中学校に入学して3ヶ月を経過し、少し緊張感もほぐれた1年生に改めて「より良い人間関係づくり」・「誰もが居心地の良い学級」になるために、私たちが心がけなければならないことをご教授いただきました。

互いの違いや良さを認めながら、「思いやりと歩み寄り」の心が大切なことを子どもたちは実感していました。有難うございました。

忠類の特産品「ゆり根」

JA忠類ゆり根組合連携事業 ゆり根キャラ総選挙決定

昨年度末にJA忠類ゆり根組合さんと連携事業として、子どもたちがゆり根の学習を踏まえて、ゆり根キャラを考案する取組を行いました。地域の各事業所に子どもたちが考案したキャラクターを掲示し、投票をいただきました。

その結果を遅ればせながら、決定いたしましたのでご報告いたします。

選ばれたキャラクターは、その後、2・3年生で深掘りし、地元の方に協力を得ながら、更に整理いたします。今後、ゆり根組合さんに忠類ゆり根の公認マスコットキャラクターとしてでご活用いただければと考えています。この取組も、地域の活性化につながれば、子どもたちの達成感や成就感につながっていく学びになるものと思われます。



名前：「ゆりね公爵」(父)

【プロフィール】
ゆり根はつくるのに時間がかかり作業も大変。そのため、高級そうな「公爵」になりました。真面目できれい好き。いつも自分の白さを保つために自分を磨いている。

考案者：村田 英孝



名前：「ゆりりりー」(母)

【プロフィール】
誕生日は11月21日。チャームポイントは「くりくりなたれ目」。真っ白なゆり根が好きで、少しでも汚れるとテンションが下がる。ゆり根のステッキでゆり根を有名にしようと頑張っている。

考案者：黒坂 理央



名前：「ゆりおくん」(息子)

【プロフィール】
ゆりおくんは6歳でとても優しい性格。少し活発ですが、周りの人を元気づけてくれたり助けてくれる。ゆりおくんは、優しくて色んな人とかかわっている、色々な人から愛されている。

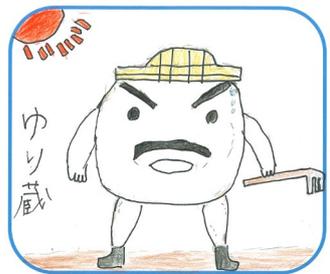
考案者：豊田 夢歌



名前：「ゆりみ」(娘)

【プロフィール】
6歳の幼稚園児の女の子。ワンピースが好きでいつも着ている。何があってもいつも冷静である。ペンダントの♡の「水色」は、冷静という意味がある。

考案者：吉田希沙良



名前：「ゆり蔵」(?) 考案者：沼田 旺助

【プロフィール】
ゆり蔵さんは、ゆり根農家歴60年のゆり根農家。美味しいゆり根を追究している。優しく、思いやりがあるから、誰からも好かれている。(ゆり根を心から愛している) 特技は「ゆり根料理」&「美味しいゆり根を作ること」。出身地は、忠類生まれ、忠類育ちである。趣味はゆり根を汗を流すように一生懸命につくること。チャームポイントは、ゆり根農家が苦勞してゆり根を作っていること。



1年生～井上農場訪問～



7月10日(月)に1年総合的な学習のふるさとの探究活動の一つとして、地元特産品である「ゆり根」について学びを深めました。事前学習として、ゆり根の歴史や特徴などを学び、実際にゆり根農家である井上農場に行き、栽培の苦勞や成長までの過程等、現地で様々なことを知ることができました。

ゆり根が出荷されるまでには6年の歳月がかかることや全てが手作業であること等…。手間暇かけて手塩に育てることで、他の地域にはない品質の高い忠類ゆり根が出荷できることを誇りを感じていました。